# $\bigcirc$ For 2024 application for flat-amount cut of personal income tax for withholding tax

Please submit "Application for Flat-amount Cut of Personal Income Tax for withholding tax" (hereinafter "Application for Withholding Tax") to your employer<sup>(\*2)</sup>, if you include the spouse living in the same household and dependent relatives (hereinafter the "spouse living in the same household, etc") (\*1), who were not described in the "For 2024 Application for (Change in) Exemption for Dependents of Employment Income Earner" (hereinafter "Application for Exemption for Dependents"), in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax, starting with the tax withheld on the first salary(including bonus) you receive on or after June 1, 2024.

- A case of the spouse living in the same household, etc. that is not described in the Application for Exemption for Dependents: Mainly assuming the cases where the spouse living in the same household is not described in the Application for Exemption for dependents as the spouse qualified for withholding deduction, as your total amount of income is expected to exceed 9,000,000 yen.
- \*2 Please submit it by the day you receive the first salary(including bonus) on or after June 1, 2024.

## \*Attention points when submitting the applications\*

- Regarding the spouse qualified for withholding deduction, dependent relatives qualified for deduction, and dependent relatives less than 16 years old described in the Application for Exemption for Dependents, since the same information were already included in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax, it is not necessary to include the same information in this Application for Withholding Tax once again.
- $\mathbf{2}$ Even if this Application for Withholding Tax was submitted describing the spouse living in the same household, etc. therein, if intending to include the spouse living in the same household, etc. in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax at the time of year-end adjustment, you need to submit the following to your employer by the time of year-end adjustment: "Application for Exemption for Spouse of Employment Income Earner and Application for Flatamount Cut of Personal Income Tax in Year-end Adjustment" with a description on the spouse living in the same household therein; and Application for Exemption for Dependents or "Application for Flat-amount Cut of Personal Income Tax in Yearend Adjustment" with a description on the dependent relative(s) therein.

所轄税育		00	00株式	会社	2.53		ヤマカ	ワタロウ			
00	、絵具の支払者の際	1121213	3 3 4 4 4	5 5 6 6	あな	リガナ)たの氏名	ال بل	太郎			
税	給 与 の 支 払 者 の 務署長所 在 地 (住 所)		市〇〇町2		あな	たの住所 ま 居 所		)町1-2-3		原泉市なに 係る中告書	1 4 G
© こ を含	に当たってのご注意~ この申告書は、同一生計配偶者や打 なみます。以下同じです。)に記 この申告書は、あなたが「給与所得	した源泉控除	対象配偶者や扶	<b>主要親族及び「</b> 給	给与所得者(	の配偶者控除等中	告書」に記載した控除対象配				る事
Ø	して提出する必要はありませ、 ※ この申告書に同一生計配偶	<b>切に支払を受</b> (異動)申告書」 い。 新又は扶養親族を	ける給与(賞 に記載した原来) 記載して提出した	(与を含みます) 控除対象配偶者、計 た場合であっても、	<b>す。)の源</b> 控除対象決奪 、年末調整に	泉徹収から、以 観族又は16歳未満の おいて定額展視額を		定額減税額を加算し 減税額の加算の対象に含ま 同一生計配偶者については	して控除を受けれていますので、	<b>ナます。</b> この申告書に記載 保者控除等申告書	ŧ
	【年末調整に係る申告書る 年末調整において、以一 ※ 「給与所書すの決要控除等 りません。 ※ 「給与所書すの共要控除等	に記載した3 (具動)単告書」	者について定 に記載した控除3 又は「銀泉歌収」	2. 額減税額を加 対象決業報度又は1 に係る定額減税のす	加算して 16歳未満の ための車告書	空除を受けます。 実現法については、	0		同一生計配偶者の	氏名等を記載した	
	中告書を提出する必要があり 減税のための申告書」(兼用 ※ 「源泉徴収に係る定額減税。	Eす。この場合、 第式) を使用して りための単告書」	提出してください に扶養親族を記録	い。 載して提出した場合	合であっても	「給牛所得者の封	₩への記載は不要となりますので ▶僕捺除等(異動)申告書」に記 計する場合は、この申告書を提出	載していない決費報族につ	いては、この申告		ŧ.
_	中告書を提出する必要があり 減税のための申告書」(兼用 ※ 「源泉徴収に係る定額減税。	<ul> <li>E寸。この場合、</li> <li>第式)を使用して</li> <li>5ための単告書」</li> <li>(この扶養親族に</li> </ul>	提出してください に扶養親族を記録 ついて「給与所得	い。 載して <mark>提出した場</mark> 合 時者の扶養控除等	合であっても	「給牛所得者の封	「養控除等 (異動) 申告書」に記	載していない決費報族につ	いては、この申告		ŧ.
0	申告書を提出する必要があり 減税のための申告書」(兼用 ※ 「振泉徴収に係る定額減税 氏名等」に記載してください 使用する目的に応じて、いず2	ます。この場合、 薬式)を使用して のための単告書」 (この扶養親族に いかの□にチェ	提出してください に扶養親族を設 ついて「給与所引 ックを付けてく 額の見積額が4	い。 載して提出した場合 得者の扶養控除等 ください。	合であっても (異動)申留	、「給牛所得者の想 書」に記載して提出	●費控除等(異動)単告書」に起 計する場合は、この単告書を提出	載していない決業復進につ する必要はありません。)。	いては、この申告		所得
0	中央書を提出する必要があり、 被認うための中告書:(兼用) 来 「課果開設に係る支援減認 氏を等」に記載してください 使用する目的に応じて、いず近 同一生計配偶者の氏名等 記載しようとする配偶者の本年 (フ 9 ガ ナ )	ます。この場合、 まポ)を使用して うための申告書」 (この扶養親族に いかの□にチェ 中の合計所得金	提出してください に扶養親族を設 のいて「給与所引 ックを付けてく 一額の見積額が4 人 「 」	い。 厳して提出した場合 勝者の扶養控除等 ください。 48万円を超える!	合であっても (異動) 甲音 場合には、 明昭	<ol> <li>「給与所得者の別 書」に記載して得出 控除を受けること 生 年 月 日</li> </ol>	(養徳除尊(異動)申告書」に記 19する場合は、この申告書を提出 19すできません。	載していない決業現族につけ ちる必要はありません。)。 行又は居所	いては、この申告	書の「秋隻親族の 本年中の合計	所得職
	中京書を提出する必要があり、 厳悪のための市告当(後用) ※「該東選収に係る定数減犯 氏毛等」に監載してください 使用する目的に応じて、いずは 同一生計配偶者の氏名等 記載しようとする配偶者の本年 (フリガナ) 氏 マリガナ) 氏 マリガナ) 氏 マリガナ) 氏 マリガナ) 氏 マリガナ し川花子 大養親族の氏名等	Et. この場合、 約0、6 使用して、 うための甲谷雪」 (この扶養親族に いかの口にチェ 中の合計所得金 個 2 2 2 3 3	長田してください に株美親族を記録 ついて「船与所計 ックを付けてく 類の見積額が4 人 「 3 4 4 5 5	い。 載して提出した勝切 除すの決異的除草 (ださい。 48万円を超える) 番 号 5 6 6 7 7	合であっても (異動) 申号 場合には、 明留 大平	<ul> <li>、「給与所得者の封 書」に記載して優出</li> <li>控除を受けること</li> <li>生 年 月 日</li> <li>56 · 10 · 5</li> </ul>	(異称論等(異執)申告書」に記 ける場合は、この申告書を優出 はできません。 配偽者の住む 公公市○○町1-2	載していない決業現族につけ ちる必要はありません。)。 行又は居所	いては、この申告 。	書の「扶養親族の 本年中の合計 金額の見積	所得
	<ul> <li>中央書を提出する必要があり、 検視のための中告書」(単用) ・注意楽課校に係る定数検知 北毛冑」に記載してください 彼年間する目的に応じて、いずが <b>同一生計配偶者の氏名等</b> 記載しようとする配偶者の本年 (フ り ガ ナ ) 氏 セマカワ ハナコ 山川 花子      </li> <li> <del>に</del>載しようとする親族の本年中 (フ り ガ ナ ) 氏 記載しようとする親族の本年中 (フ り ガ ナ )             氏      </li> </ul>	Et. この場合、 約0、6 使用して、 うための甲谷雪」 (この扶養親族に いかの口にチェ 中の合計所得金 個 2 2 2 3 3	毎日してくだおも に快要親族を記 「朝の見積額が4 人 」 の見積額が482 (の見積額が482)	い。 載して提出した勝切 除すの決異的除草 (ださい。 48万円を超える) 番 号 5 6 6 7 7	合であっても (異動) 申号 場合には、 明留 大平	<ul> <li>、「給与所得者の封 書」に記載して優出</li> <li>控除を受けること</li> <li>生 年 月 日</li> <li>56 · 10 · 5</li> </ul>	(異称論等(異執)申告書」に記 ける場合は、この申告書を優出 はできません。 配偽者の住む 公公市○○町1-2	<ul> <li>載していない快費販店につ</li> <li>する必要はありません。)</li> <li></li></ul>	いては、この申告 。	書の「扶養親族の 本年中の合計 金額の見積	t ) 所得 )
	中京書を提出する必要があり、 横原のための申告書」(新用 ※「原原署収に係る定数減回、 成名号」に影響してください 使用する目的に応じて、いわけ 同一生計配偶者の氏名等 記載しようとする配偶者の本年 (フリガナ) 氏 本マカワ ハナコ 山川 花子 記載しようとする観虹の本年中 (フリガナ) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア	Et、この場合、 約0、20使用して、 ための申答書」 (この扶養親族に いかの口にチェ 中の合計所得金 編 22233( 20合計所得金額	毎日してくだお話 のいて「総争が後 に決要規族を記 編の見積額が4 かいて「総争がり のいて「総争がり ののして 積 の見積額が48 人 「 」 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	い。 載して提出した勝切 構 の 状 裏 加除 単 (だ さい。 48万円を超える4 香 号 5 6 6 7 7 万円を超える場	合であっても (異動) 単分 場合には、 明 ・ ア 大平 合には、 控 級所 し 了	、「総4ボ得着のり 書」に記載して優け 整味を受けること 生年月日 ちら・10・5 除を受けることに 生年月日 23・7・5 80 第23・7・5	(養殖除等(異教)申告書)に記 ける場合は、この申告書を優出 はできません。 配偽者の住む 公公市○○町1-2 にできません。	<ul> <li>載していない状象変換につ する必要はありません。)。</li> <li></li></ul>	いては、この申告 	書の「扶養教徒の 本年中の合計 200,00( 本年中の合計	( ) 所得 )
	中央書を提出する必要があり、 検視のための中告当(後期) ※「該東要収に係る定数減犯 此を場」に記載してください 使用する目的に応じて、いずが 同一生計配偶者の氏名等 記載しようとする配偶者の本年 (フリガナ) 氏 となしようとする配載の本年中 (フリガナ) 氏 を変効プサブロク	E+1、この場合、 赤以 を使用して かための申告書」 (この扶養親族に 1かの□にチェ 中の合計所得金 留 22233、 0 0 合計所得金額 個 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	毎日してくだお話 のいて「総争が後 に決要規族を記 編の見積額が4 かいて「総争がり のいて「総争がり ののして 積 の見積額が48 人 「 」 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	い。 酸して提出した場野 勝者の決異施除等 (ださい。 総万円を超える4 番 号 5 6 6 7 万円を超える場合 番 号	合であっても (異動) 単谷 場合には、 明 ・ 天 一 〇 〇 一	、「総4ボ病業の別 書」に記載して優け 控除を受けること 生年月日 56・10・5 除を受けることに 生年月日 生年月日	(運動除等(運動)申告書)に記 する場合は、この申告書を提出 はできません。 配偽者の住だ ▲△市○○町1-2 にできません。 技費親族の住	<ul> <li>載していない状象変換につ する必要はありません。)。</li> <li></li></ul>	いては、この申告 	書の「扶養親族の 本年中の合計 金額の見復 本年中の合計 金額の見復	1 () () () () () () () () () () () () ()

2

【源泉徴収に係る申告書として使用】・・・令和6年6月1日以後最初に支払を受ける給与(賞与を含みます。)の支払日までに、この申告書を給与の支払者に提出してください

令和6年6月1日以後最初に支払を受ける給与(賞与を含みます。)の源泉徴収から、以下に記載した者について定額減税額を加算して控除を受けます。

「給与所得者の扶養控除等(異動)単告書」に記載した原泉控除対象配偶者、控除対象共養親族又は16歳未満の扶養親族については、既に定額減税額の加算の対象に含まれていますので、この申告書に記載 して提出する必要はありません

この申告書に同一生計配偶者又は決要親族を記載して提出した場合であっても、年末調整において定額減税額を加算して控除を受ける際には、同一生計配偶者については「給与所得者の配偶者控除等申告書 兼 年末調整に係る定額減税のための申告書」に記載し、決要親族については「給与所得者の決要控除等(異動)申告書」又は「年末調整に係る定額減税のための申告書」に記載して提出する必要があります。

When submitting this Application for Withholding Tax, for the purpose of including the spouse living in the same household, etc. in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax starting with the tax withheld on the first salary(including bonus) you receive on or after June 1, 2024, please enter a checkmark in "□".

# 2 Fill in the information on spouse living in the same household or dependent relatives

0	同一生計配偶者の氏名等 記載しようとする配偶者の本:	年中の合計所得	金額の見積額	国が48万円	日を超える場合	icit.	控除を受けることはでき	ません。	3	4
	(フリガナ) 氏 名	2 #	х	*	野		生年月日	配偶者の住所又は居所	居住者に 該当	本年中の合計所得 金額の見積額
	ヤマカワ ハナコ 山川 花子	2 2 3	3 4 4	5 5	6 6 7 7	明日:大平		市〇〇町1-2-3	N	200,000
100	扶養親族の氏名等 記載しようとする親族の本年。	中の合計所得金	額の見積額	548万円す	と超える場合に	11. #	読を受けることはできま	せん。	8	4
)	(フリガナ) 氏 名	2 🙀	人	番	<b>F</b>	統柄	生年月日	扶養親族の住所又は居所	居住者に 該当	本年中の合計所得 金額の見積額
1	ヤマカワ サブロウ 山川 三郎	5 5 6	677	8 8	9 9 0 0	子	明 <del>平</del> 大·23·7·5 △△1 昭令	市〇〇町1-2-3	N	0
2			(1)	11	111		明·平 大·哈			
1				1			明平 大· 哈			

# ▶ 1 Name of spouse living in the same household or dependent relatives

### ▶ ③Falling under the resident category

Describe the full name and its pronunciation(furigana) the snouse living in the same household etc.

of the spouse living in the same household, etc. \* It is not necessary to describe the following described in the Application for Exemption for Dependents once again: spouse

Application for Exemption for Dependents once again: spouse qualified for withholding deduction; dependent relatives qualified for deduction; and dependent relatives less than 16 years old.

### ▶ 2 Individual number

Individual Number should be described for the spouse living in the same household, etc. However, under certain conditions, description on Individual Number is not required. For this, you are advised to check with your employer.

# \*Attention points when filling out the application\*

\* If the spouse living in the same household, etc. is a non-resident, such spouse living in the same household, etc. cannot be included in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax.

### ▶ ④ Estimated income amount of this year

Describe the estimated total income amount of the spouse living in the same household, etc. in 2024.

- \* If the estimated total income amount of the person exceeds 480,000 yen, such spouse living in the same household, etc. cannot be included in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax.
- 1 In case there are two or more income earners in a household (for instance, households where both husband and his wife are working), the following should apply. Please be careful not to describe the one spouse living in the same household and/or other dependent relatives in your application as well as in the application of any other income earner in the same household in a duplicate manner.
  - I In case your spouse living in the same household is a dependent relative for the other income earner at the same time, the spouse living in the same household cannot be included in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax for multiple times. (Amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax should be carried out assuming that the person is your spouse living in the same household or that the person is the other income earner's dependent relative.)
  - II In case any of your dependent relatives is also a dependent relative for the other income earner in the same household, the dependent relative cannot be included in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax for multiple income earners (Amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax should be carried out assuming that the dependent relative is a dependent relative for only one person, or yourself or another income earner.)
  - III In the cases I and II above, how the spouse living in the same household, etc. should be included in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax (as whose spouse living in the same household, as whose dependent relative, etc.) is determined by the description included in the Application for Exemption of Dependents or in the Application for Withholding Tax, etc.

Also, even if the spouse living in the same household, etc. was once included in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax by describing so in application, etc., that can be canceled by submitting an application not to include the person in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax, and then the spouse living in the same household, etc. could be included in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax for a different person. In such a case, it is necessary for you and the other income earner to once again apply for including the spouse living in the same household, etc. in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax or not to include the person in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax or not to include the person in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax.

When this application for change, etc. was submitted after the date the first salaries (including bonuses) paid on or after June 1, 2024, the difference in the amount of the flat-amount cut of personal income tax arising from the change will be settled in year-end adjustment or in final tax return.

2 In case your spouse dies in 2024 and you get married with another person also within 2024, only one spouse living in the same household can be included in the amount calculation for the flat-amount cut of personal income tax: that is, the spouse who died, or the other person who became your new spouse.